

設問 1

自治会のイベント（夏休みに開催するサマーフェスティバル | 盆踊り・花火・ビンゴ・役員による模擬店など…）への集まりが悪く、協力者も参加者も減っています。役員会で、この問題についてどうするか検討することになりました。皆さんはこの自治会の役員さんです。話し合っって何らかの結論を出して下さい。

課題 自治会のイベントに集まりが少なくなっている

イベント	サマーフェスティバル		
イベント内容	盆踊り	自治会の名物おじいちゃんが太鼓を叩く	
	花火大会	手持ち花火(子供たちのみ)	
	ビンゴ大会	去年の一等商品は「ママチャリ」/今年は「扇風機」 ビンゴカードは自治会加入世帯のみ配布している	
	模擬店	毎年、自治会内の有志がそれぞれの店を運営 毎年50代～60代のメンバーで固定化しつつある	
予算	毎年35万円		
	内訳	広報宣伝費(各戸チラシ   掲示板ポスター)	7万円
		ビンゴ景品費	8万円
		やぐら設営費	5万円
		提灯等電気設備費	5万円
		花火購入費	5万円
		什器等レンタル費	3万円
		接待費(飲み物・菓子費用)	2万円
	模擬店の売上は30万円(材料費等の経費を除くと15万円が収益)		
事業費35万円のうち、収益15万円で回収しており、地元商店会等から10万円程度の寄付があるので、自治会予算持ち出し分は10万円			
人件費等は一切出していない(地元の大工さん電気屋さんには出ている)			
参加人数	10年ほど前の多い時は1200人の参加があった		
	去年は800人、今年は750人と、少しずつ減っている		
	子供の参加は多いが、帰省している子供や、地域外の子供も多い様子		
自治会人口	世帯数4000戸 人口11,000人 自治会加入率75%		
	この10年で総人口は1割ほど減っている。高齢化率は10年前28%→現在40%		
自治会役員	会長が70代後半男性		
	70代男性5人/60代男性8人/50代男性1人/50代女性3人/40代男性1人		
	イベントスタッフ前日・当日は各班から2～3人で15人～20人増員される		
役員の悩み	準備がしんどくなってきたので、イベントそのものをやめたいという意見も		
	とにかく大変なので、模擬店だけでもやめたいという案が毎年出る		
	若手役員から、高収益化を目指す案が出たが却下されている 模擬店をやめて、プロの屋台に声をかけてはどうかという案も出ている		

設問2（選択問題 どちらかを選んで下さい）

【その1】



これは西宮のある商店街の写真です。どことなく殺風景で元気のなさそうなこの商店街を、よりよい景観・元気のある商店街、にするための工夫を考えようと思います。皆さんでどんな方法が可能か提案して下さい。

【その2】

ある住宅地で、まちなみの景観を統一するために桜並木をつくる計画があがっています。春には通りぬけのお花見も企画してみんな楽しみにしていますが、沿道の住宅に住む人から「花びらの掃除や毛虫にこまるので、他の木にして！」との苦情がありました。皆さんはこの地区の役員さんです。この苦情についてどう対応するか、結論を出して下さい。